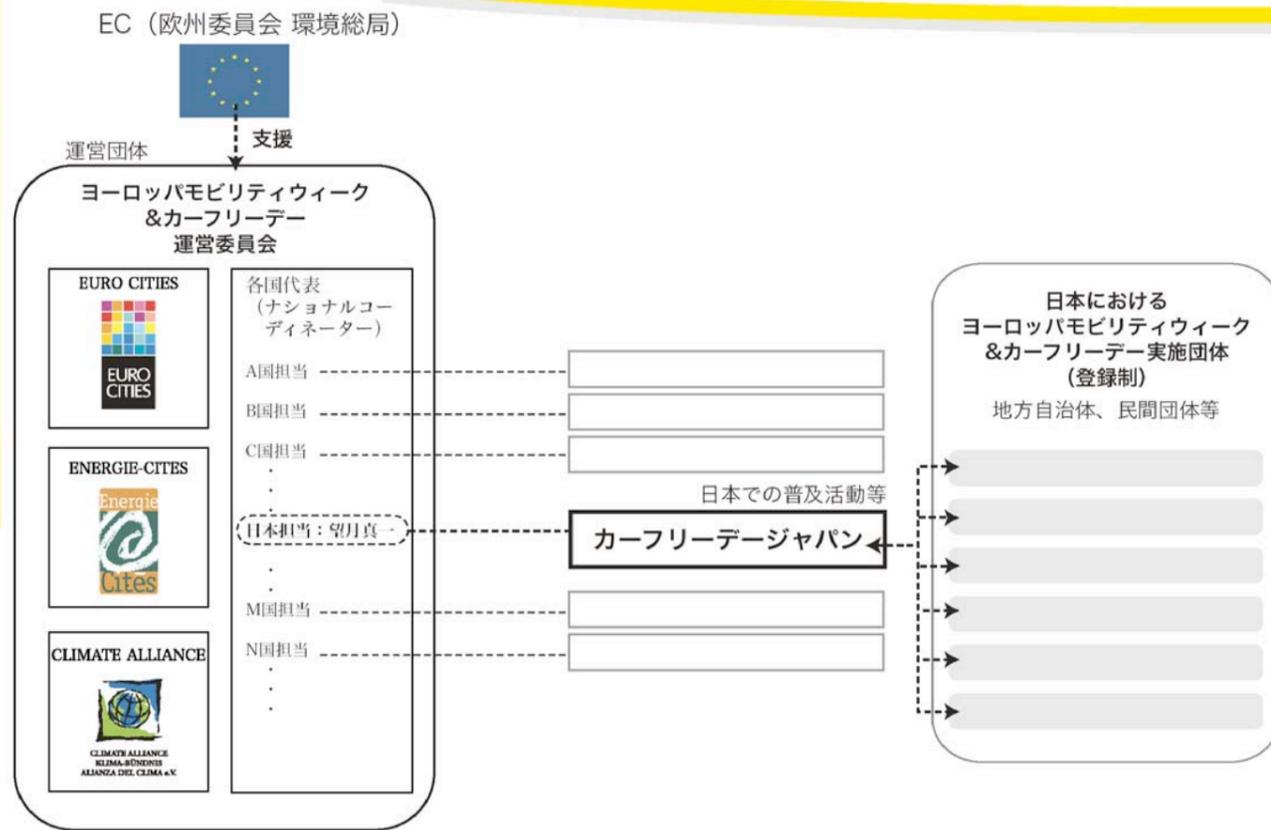


ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの枠組み



ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー実施の目的

社会啓発

- ・車と地球環境問題
- ・車と都市交通
- ・車と都市文化
- ・カーフリー空間の体験

を考える

新しい施策の開始

- ・市民への周知
- ・新しいシステムの紹介
- ・新施策のスタート

の機会とする

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーは、環境問題を都市交通の面から対処していくため、また街に人中心の賑わいを創り出していくため、「車の使い方」を見直そうというものです。

持続可能な都市交通に向けたプロジェクトであり、単なるイベントの実施でもなければ、社会実験でもありません。

車優先社会から、公共交通や自転車を中心とした歩行者中心の暮らしづくりをめざし、より多くの人に、車のあり方について考えてもらいます。その上で、各都市がめざすまちづくりに向けての、新しい施策を開始する機会となるのです。

カーフリーデー・ジャパン
お問い合わせはカーフリーデー・ジャパンまで

カーフリーデー・ジャパン
ヨーロッパカーフリーデー日本担当コーディネーター 望月真一
東京都千代田区六番町6-20-304 〒102-0085
tel.03-3234-1765/fax.03-3234-1748
cfjapan@cfjapan.org
http://www.cfjapan.org

ヨーロッパモビリティウィーク & カーフリーデー 2006

日本の実施状況報告



2006年テーマ
「Climate Change 気候変動」

【2006年参加都市・団体】

- 横浜市 (よこはまカーフリーデー実行委員会)
- 松本市 (松本市ノーマイカーデー推進市民会議)
- 名古屋市 (なごやカーフリーデー協議会)

【世界の参加都市】

- モビリティウィーク 1321都市
- カーフリーデー 1311都市

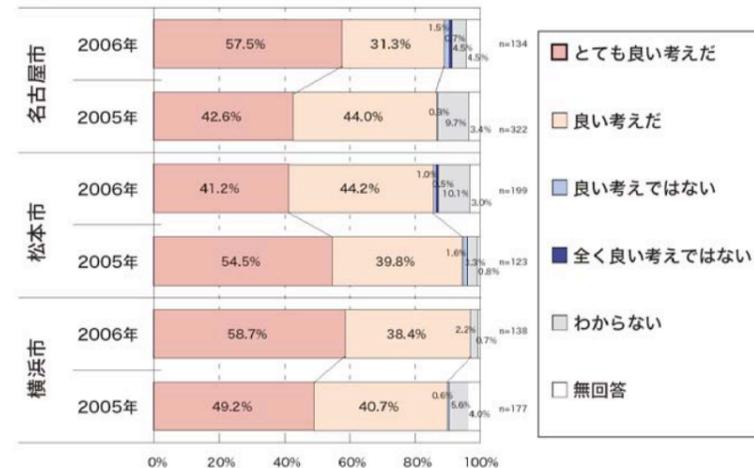
3年目の実施となる、横浜市、松本市、名古屋市の3都市において、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーイベントが開催されました。3都市共にヨーロッパ運営委員会への支援参加都市として、今年のテーマ「気候変動」に沿った取組みを約一週間行いました。各都市様々な団体が協力し、たくさんの人が参加したキャンペーンとなりました。

また、今年もイベント中に、「車に依存しない、歩行者中心のまちづくり」を日本で進めるための市民意識を把握するために、カーフリーデーアンケートを行いました。

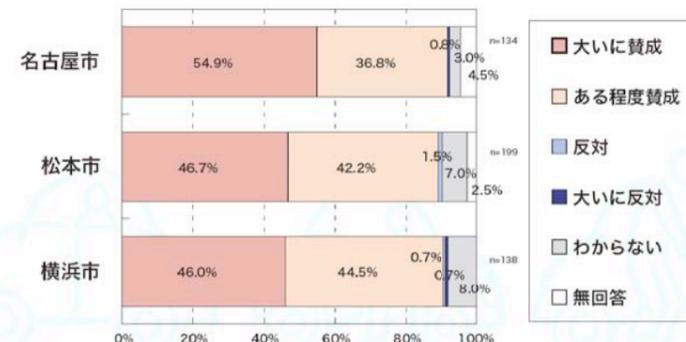
【カーフリーデーアンケート結果 (全20問)】

2005年のアンケートと比べてみると、若干ではありますが、意識が向上している傾向が見られました。自転車や公共交通機関を中心とした歩行者中心のまちづくりに向けては、市民の意識という側面からは整いつつあると考えても良いのではないのでしょうか。このような市民意識をふまえた政策展開に期待します。

Q. カーフリーデーについてどのように考えていますか



Q. 「自動車利用者にとっての道路のスペースがなくなったとしても、公共交通機関を改良することは大切だと思う」



※イベント実施場所や来街者の特性によっても傾向は異なります。松本市に関しては、今回は市外からの観光目的の来街者が多いという特徴がありました。他の質問回答結果については、カーフリーデー・ジャパンまでお問い合わせください。

ヨーロッパのモビリティウィーク & カーフリーデー 2006



10年目の実施となるラ・ロッシュェル (仏)



様々な人が行き交う歩行者に開放された道路 (ラ・ロッシュェル)



市域全体をカーフリーにしたブリュッセル



ナント (仏)ではBusWayがモビリティウィークの目玉となった (写真は展示ブース内)



2006年のキャンペーンチラシ



トランジットモールが実現しました!

主催：よこはまカーフリーデー実行委員会
(民間団体)

協賛団体も含めて 83 団体が協力して行われた、よこはまカーフリーデー。

メインイベントは、9月23日(土祝)。2005年に日本大通りを歩行者に開放しましたが、今年は更に、歩行者に開放された空間に公共交通(路線バス:赤い靴号)が乗り入れる、トランジットモールが実現しました。会場は昨年までの横浜公園、日本大通りの2箇所に加え、伊勢佐木町商店街が加えられ、幅広い取組となりました。

本部である横浜公園では、レンタサイクルやカーシェアリングの紹介、フリーマーケットやカーフリーデーの展示などが行われました。日本大通りでは、自動車から歩行者に開放された道路空間で、自転車や車いすの展示や試乗、パレードが行われました。伊勢佐木町商店街では、これら3会場を結ぶスタンプラリーの終点として人々の賑わいがあり、たくさんの人が参加したイベントとなりました。この他にも、駅構内へのカーフリーデーパネル展示も1週間行いました。



会場に掲げられた横断幕(横浜公園)

チラシ・写真提供:よこはまカーフリーデー実行委員会



歩行者に開放された道路空間を楽しむ様子(日本大通り)



カーフリーデーに関する展示も充実しました

松本市

主催：松本市ノーマイカーデー推進市民会議
(民間団体・行政支援)

一般企業や金融機関、交通事業者、大学、警察等 37 団体が構成する松本市ノーマイカーデー推進市民会議。2006年のイベントの口火を切ったのが、国道19号の交差点にて、チラシ・啓発グッズを配布し、賢い通勤・通学を呼びかけるノーマイカーデー街頭キャンペーンでした。

また、新聞広告でノーマイカー通勤の統一実施を呼びかけ、9月22日(金)に会員及び賛同企業を合わせた自動車通勤者の内、約3割が自動車通勤を自粛しました。

9月23日(土祝)には、松本城公園にて、カーフリーデーフェスティバルが開催され、ペロタクシー無料試乗体験やコンサート、「街の資産再発見」としての自転車散歩、フリーマーケットなどが行われました。



2006年のキャンペーンチラシ



ペロタクシー試乗の様子



コンサートの様子



カーフリーデーに関するパネル展示



チラシ・写真提供:松本ノーマイカーデー推進市民会議

世界からの参加都市数

- ヨーロッパ 1311 都市
- アジア 6 都市

モビリティウィーク参加都市 1321 都市

北アメリカ 3 都市

南アメリカ 1 都市

ヨーロッパ 1257 都市

アジア 6 都市

北アメリカ 3 都市

南アメリカ 45 都市

カーフリーデー参加都市 1311 都市

名古屋市

主催：なごやカーフリーデー協議会
(行政主体)

名古屋カーフリーデー協議会は、行政を主体として、大学、交通事業者、青年会議所などが参加する組織です。名古屋市では、「車の休日」としてヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーのキャンペーンを行っています。

2006年のメインイベントは9月24日(日)。栄交差点から白川公園までの約2kmの道路を、1車線分使い、カーフリーデーパレードが行われました。ペロタクシーが走行し、愛・地球博で話題となったモリゾー、キッコロも参加しました。その周辺の白川公園付近では、ペロタクシーの試乗も行われました。

もう一つの会場ナディアパークアトリウムでは、カーフリーデーパネル展示や、9月17日(日)~24日(日)の間、1日以上「車を使わない」ことを宣言する「カーフリーデー参加宣言」が行われ、多数の方からの宣言を得ることができたようです。

9月17日(日)の「環境デーなごや2006」でもカーフリーデーキャンペーンが行われ、カーフリーデー宣言が行われるなど、幅広いキャンペーンイベントとなりました。



2006年のキャンペーンチラシ



カーフリーデー参加宣言、パネル展示
(ナディアパークアトリウム)



交通エコライフライブラリーには700人以上が参加
(覚王山参道ミュージアム)



栄交差点から白川公園までのカーフリーデーパレード

チラシ・写真提供:名古屋市

